

呼吸器内科プログラム

【呼吸器内科の卒後研修プログラムの特徴】

1. 内科全般を診療できる臨床能力の高い呼吸器内科医の育成
2. 各種専門医を取得できるように指導
3. 大学院への進学を積極的に支援
4. 他大学出身者の積極的な受け入れ

【2つの卒後研修コースを提供】

以下の2つの卒後研修コースを提供します。なお希望に応じて途中で変更も可能です。

【呼吸器専門医コース】

呼吸器内科医としての全般的な知識と医療技術の習得を目指すコースです。日本内科学会専門医の受験に必要な症例を経験するとともに、高度な医療技術を習得できるように指導します。指導医と共に主治医として豊富な症例を経験し、内科専門医・呼吸器専門医・がん薬物療法専門医・気管支鏡専門医・アレルギー専門医等の関連学会の認定医・専門医の取得の支援をします。また内科学会・呼吸器学会・肺癌学会などの国内学会に限らず、国際学会における口演およびポスター発表を経験できるように指導します。身分はレジデント（卒後3～5年目）です。胸部レントゲンや胸部CTなどの画像読影能力を習得し、人工呼吸管理をマスターし、将来高い臨床能力をもつ呼吸器内科医になれるように指導します。

【大学院コース】

呼吸器疾患関連の基礎および臨床研究を行う学位取得をめざすコースです。現在、細胞実験・動物実験などの基礎研究や、臨床サンプル（血清・胸水・腹水など）・画像関連の臨床研究をしています。呼吸器領域の研究課題は肺癌・中皮腫などの悪性疾患や、間質性肺炎・慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息・肺炎などの良性肺疾患など多岐にわたりますので、希望に応じた研究指導を行い、学位取得を支援します。詳細はお問い合わせ下さい。

【レジデント A（卒後3年目）の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、放射線科、呼吸器外科、ICU、感染制御部、リハビリテーション部のいずれかで、希望により3ヶ月間研修を行うことができます。

【呼吸器内科で学ぶ検査治療手技】

1. 気管支鏡検査(経気管支的肺生検・超音波気管支鏡等)
2. 局所麻酔下胸腔鏡検査
3. 胸腔穿刺・胸水ドレナージ・胸膜生検
4. 気管内挿管(経鼻・経口)、人工呼吸器管理

【カンファレンスなどの予定】

- 月：PM 2:30～ 教授回診、新入院・重症カンファレンス
月：PM 7:00～ 研究カンファレンス、症例カンファレンス、論文抄読会、医局会
火：PM 6:00～ 合同カンファレンス（呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理）

木：PM 3:00～ 准教授回診、重症カンファレンス

【関連病院】（下線病院は卒後3年目以降の臨床研修として派遣実績のある病院です。）

宝塚市立病院、大手前病院、千船病院

【指導医】

准教授：栗林 康造

学内講師：三上 浩司

学内講師：大搦泰一郎

助 教：柴田 英輔

助 教：本田 実紀

助 教：金村 晋吾

助 教：神谷 瞳

【研修統括者】

学内講師：大搦泰一郎

【問い合わせ先】

医局長：三上浩司

研修・入局などのご相談は、医局長【三上浩司】までご連絡下さい。

呼吸器内科

TEL：0798-45-6596（内線 6596） FAX：0798-45-6597

E-mail：mikami@hyo-med.ac.jp